

社会資本総合整備計画　社会資本整備総合交付金

令和02年11月10日

計画の名称	洛西口・桂駅高架下地区都市再生整備計画											
計画の期間	平成31年度～令和02年度(2年間)											
交付対象	京都市											
計画の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・阪急電鉄京都線洛西口駅～桂駅の高架下空間を活用した「歩いて楽しいにぎわいのあるまちづくり」を推進する。 ・地域交流を促進し、まちづくり活動を活性化する。 											
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	567	A	567	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0%

番号	定量的指標の定義及び算定式	計画の成果目標（定量的指標）			定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値			
		H30当初		H32末			
1	バス停（洛西口駅前、川島六ノ坪、自衛隊前、蓮田町、桂高校前、野田町）の乗降客数（人/日）						
	バス停（洛西口駅前、川島六ノ坪、自衛隊前、蓮田町、桂高校前、野田町）の乗降客数	812人/日	人/日	914人/日			
2	地域交流施設の利用回数（回/月）						
	地域交流施設の利用回数	33回/月	回/月	51回/月			
3	洛西口駅南東部地域の住民が高架下施設まで安全に歩いて到達できる所要時間の短縮						
	洛西口駅南東部地域の住民が高架下施設まで安全に歩いて到達できる所要時間の短縮	6分	分	3分			

備考等 個別施設計画を含む — 國土強靄化を含む — 定住自立圏を含む — 連携中枢都市圏を含む — 流域水循環計画を含む — 地域再生計画を含む —

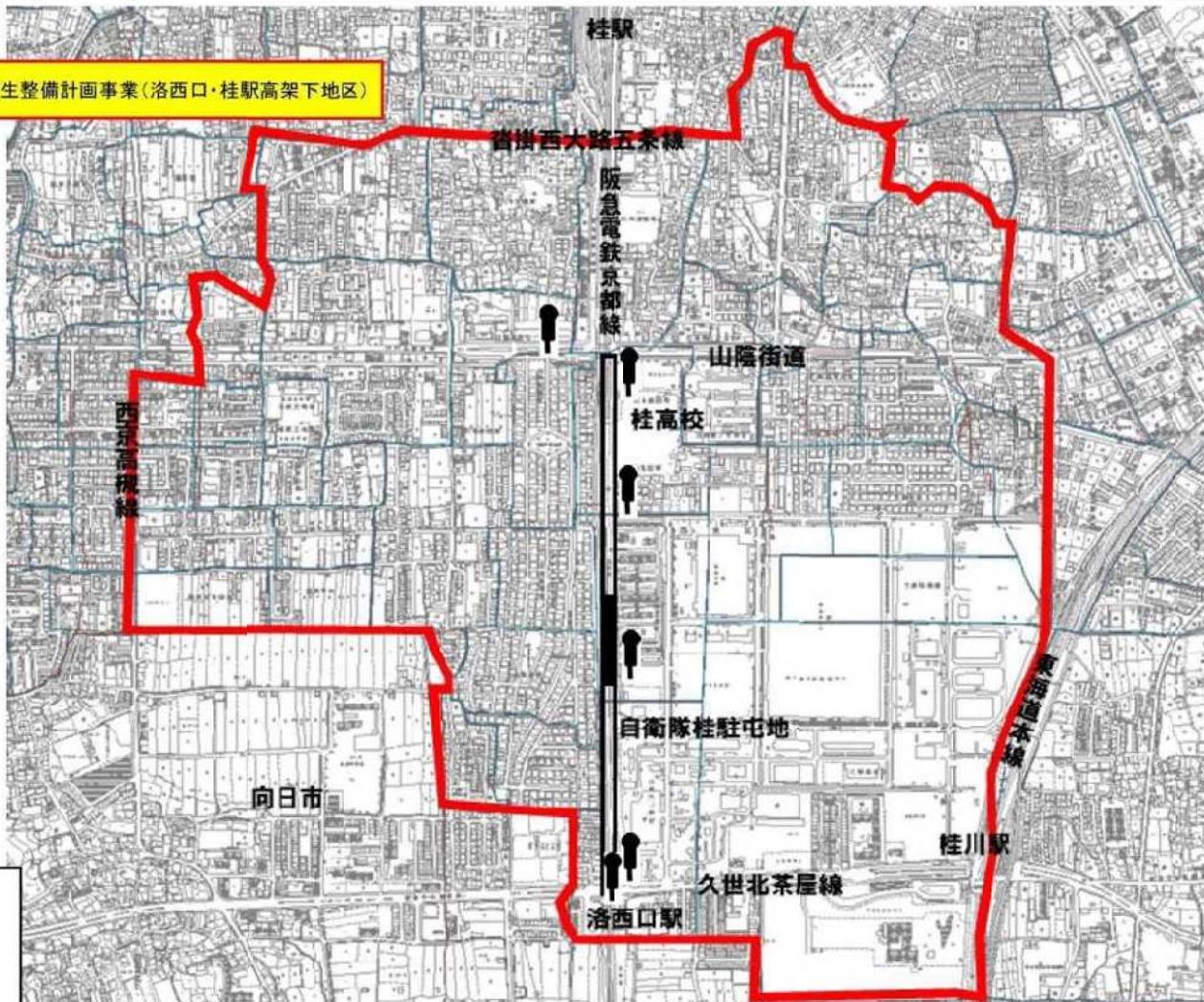
A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画定状況	
												H31	R02	R03	R04	R05				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
都市再生整備計画事業	A10-001	都市再生	一般	京都市	直接	京都市	—	—	都市再生整備計画事業（洛西口・桂駅高架下地区）	186ha（うち公共施設整備敷地約1,688m ² ）	京都市	■	■				567		—	
												小計						567		
												合計						567		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H31				
配分額 (a)	226				
計画別流用増△減額 (b)	△6				
交付額 (c=a+b)	220				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	145				
翌年度繰越額 (f)	75				
うち未契約繰越額(g)	8				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d)) %	3.63				
未契約繰越率+不用率が10%を超えてる場合の理由					

(参考図面) 社会資本総合整備計画

計画の名称	洛西口・桂駅高架下地区都市再生整備計画	
計画の期間	平成31年度～平成32年度（2年間）	交付対象 京都府京都市
凡 例	A-1 都市再生整備計画事業(洛西口・桂駅高架下地区)	

基幹事業

バス停

都市再生整備計画

らくさい ぐち かつらえ きこう かした

洛西口・桂駅高架下地区

きょうとふ きょうとし
京都府 京都市

平成31年1月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	京都府	市町村名	きょうとし 京都市	地区名	らくさい ぐち かつらえき こうかした ちく 洛西口・桂駅高架下地区	面積	186 ha
計画期間	平成 31 年度	～	平成 32 年度	交付期間	平成 31 年度	～	平成 32 年度

目標

- ・阪急電鉄京都線洛西口駅～桂駅の高架下空間を活用した「歩いて楽しいにぎわいのあるまちづくり」を推進する。
- ・地域交流を促進し、まちづくり活動を活性化する。

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

<経緯>

- ・本市では、平成28年3月に策定した「はばたけ未来へ！京(みやこ)プラン後期実施計画2016－2020」の中で、阪急電鉄京都線洛西口駅付近の連続立体交差化事業(鉄道高架化)により生み出された高架下空間を活用し、子育て環境の充実や世代間交流の促進、大原野「地域ブランド」戦略等との相乗効果の発揮を目指す「洛西口～桂 駅間プロジェクト」の推進を掲げている。本プロジェクトは、京都市及び阪急電鉄による包括的連携協定(平成27年12月21日締結)の下、京都市が進める「洛西ニュータウン活性化に係る取組の推進」及び「大原野“地域ブランド”戦略」等と連携し、それぞれの施策を一層効果的に展開し、西京区エリアの活性化を目指すものである。
- ・プロジェクト実施にあたっては、地域住民と共にまちづくりを進めることを基本に据え、京都市及び阪急電鉄(株)が連携して市民の意見をワークショップやアンケート調査等を実施し、聴取した意見を基に整備計画を策定する等、徹底した市民目線で進めている。

○平成28年度 ワークショップ開催状況

6月22日	西京まちづくりカフェ「ふらっと西京」	11月2日	京都経済短期大学
8月25日	西京区内活動団体	11月4日	西京まちづくり区民会議
8月31日	西京まちづくりカフェ「ふらっと西京」	11月8日	京都府立洛西高等学校
10月17日	京都明徳高等学校	11月10日	京都府立桂高等学校(園芸)
10月18日	西京まちづくりカフェ「ふらっと西京」	11月14日	京都市立芸術大学
10月22日	一般公募によるW.S	11月25日	京都府立桂高等学校

<現況>

- ・本市では、魅力あふれる歩行空間の創出、歩いて楽しい暮らしを大切にするライフスタイルへの転換等により、人と公共交通優先の「歩くまち・京都」の実現を目指し、平成22年1月に「歩くまち・京都」総合交通戦略を策定している。これに基づき、阪急電鉄京都線洛西口駅の連続立体交差化事業により、高架に沿う形で約1kmにわたる広幅員の遊歩道を高架両側に整備(高架西側6m、東側8m)した。鉄道で分断されていた本計画地区では、本事業により広大な歩行空間が生まれ、地域を南北に縦断する歩行環境は飛躍的に向上している。
- ・本計画地区の存する西京区エリアにおいては、平成23年3月に策定した「西京区基本計画」を推進し、地域の絆を育み、安心して暮らせる街を目指して、地域コミュニティの更なる活性化に取り組んでおり、「西京むすび」や「ふらっと西京」などのまちづくりサロンを起点とした、任意団体等による学区・地域を超えた交流やイベントが活発に行われている。

課題

- ・高架下用地の利用は一部に限定されるなど、駅に近くても賑わいに乏しく、約1kmにわたる遊歩道は歩くことを楽しめる空間にはなっていない。
- ・歩行環境は向上しているが、高架東側の地域は大半が自衛隊桂駐屯地であることや、高架西側には第一種低層住居専用地域の閑静な住宅街が広がるなどの環境にあるため、整備された歩行空間に魅力を付与するコンテンツに欠けている。
- ・南北遊歩道は南側が久世北茶屋線までとなっており、人口増加の著しい洛西口駅南東部地域との安心安全な歩行環境の接続ができていないため、にぎわいの連続性やひろがりが損なわれている。
- ・まちづくり活動を行う任意団体等の活動場所が不足しているため、地域に根差した活動がなされているとは言い難い。

将来ビジョン(中長期)

- ・平成28年3月に策定した「はばたけ未来へ！京(みやこ)プラン後期実施計画2016－2020」の、個性と活力あふれるまちづくり戦略を推進する柱の一つである「地域の個性を生かした、賑わいのあふれるまちづくり」を推進する。
- ・平成22年1月に策定した「歩くまち・京都」総合交通戦略の柱の一つである「歩く魅力を最大限に味わえるよう歩行者優先のまちづくり」の実現に向けて取り組む。
- ・平成23年3月に策定した「西京区基本計画」にある人と人とが支え合う区民が主役のまちづくりを目指し、地域コミュニティの更なる活性化を促進するモデルとなるよう取り組む。
- ・平成29年3月に策定した「今後の道路整備事業の進め方」にある「公共交通優先のまちづくり」「関連事業やまちづくりとの連携」「道路ネットワークの充実」を実現する道路整備に取組む。

目標を定量化する指標

指標	単位	定義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
公共交通(バス)の利用者数	人	本件施設最寄りのバス停※の乗降客数(人/日) ※洛西口駅前、川島六ノ坪、自衛隊前、蓮田町、桂高校前、野田町	「歩いて楽しいにぎわいのある空間」の推進による、公共交通を利用した来街者の増加	812人	H24	914人	H32
地域交流施設の利用回数	回	市民団体等による当該エリアの地域交流施設※の平均利用回数(回/月) ※川岡会館・櫻原公会堂・東川島集会所・本件施設	地域交流を促進し、まちづくり活動を活性化することによる集会等の増加	33回	H29	51回	H32
所要時間の短縮	分	洛西口駅南東部地域の住民が、高架下施設まで 安心安全な経路で到達できる所要時間の短縮(分)	桂馬場線の整備による安心安全な歩行者ルートの確保に伴う所要時間の短縮	6分	H30	3分	H31

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>○阪急電鉄京都線洛西口駅～桂駅の高架下空間を活用した「歩いて楽しいにぎわいのあるまちづくり」を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ベンチ等を配置したオープンな外部空間である広場や、カフェと一体的に利用できるデッキ等を設けることにより、歩行者が気軽に立ち寄ることができる空間を整備する。 ・洛西口駅南東部地域と一体となったひろがりのあるにぎわい実現のため、高架沿いの安心安全な歩行者空間を南に向けて整備する。 <p>【関連事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・整備予定地に隣接するカフェとの連携 ・連続立体交差化事業によって生まれた空間の有効利用 ・レンタサイクルを利用したサイクルツーリズム等による地域交流促進(阪急電鉄) 	<p>【基幹事業】地域生活基盤施設: デッキ、情報板 【基幹事業】高次都市施設: 地域交流センター 【基幹事業】道路: 桂馬場線 【提案事業】図書スペース</p> <p>【関連事業】連続立体交差化事業 【関連事業】子育て応援施設、カフェ 【関連事業】マルチスペース、駐輪場、レンタサイクル等(阪急電鉄)</p>
<p>○地域交流を促進し、まちづくり活動を活性化する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域交流センターでは、地元自治会のミーティングなどにも活用可能な多目的に活用できるスペースに、地域の方が利用できるキッチンコーナー等を備え、多様なイベントに対応できるスペースを整備するほか、パーテーション等で分割利用できるようにし、あらゆるニーズに対応できるよう整備する。 ・相談コーナー等にも活用できる個室や、図書の貸出にも活用可能なカウンターを備えるなど、地域交流センターとしての活用の幅が広がるよう整備する。 <p>【関連事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・整備予定地に隣接するカフェとの連携 ・連続立体交差化事業によって生まれた空間の有効利用 ・レンタサイクルを利用したサイクルツーリズム等による地域交流促進(阪急電鉄) 	<p>【基幹事業】地域生活基盤施設: デッキ、情報板 【基幹事業】高次都市施設: 地域交流センター 【基幹事業】道路: 桂馬場線 【提案事業】図書スペース</p> <p>【関連事業】連続立体交差化事業 【関連事業】子育て応援施設、カフェ 【関連事業】マルチスペース、駐輪場、レンタサイクル等(阪急電鉄)</p>

その他

- まちづくりの目標の達成に向けた計画の管理
 - ・行政機関、地域、関係団体と情報共有や進捗状況の確認を行う。
- 事業終了後の住民等によるまちづくりの体制
 - ・西京区役所、洛西支所との連携、地域のNPOや任意団体等の地域による継続的なまちづくり活動を推進。

様式3 目標を達成するために必要な交付対象事業等に関する事項

交付対象事業費	565	交付限度額	226	国費率	0.4
---------	-----	-------	-----	-----	-----

(金額の単位は百万円)

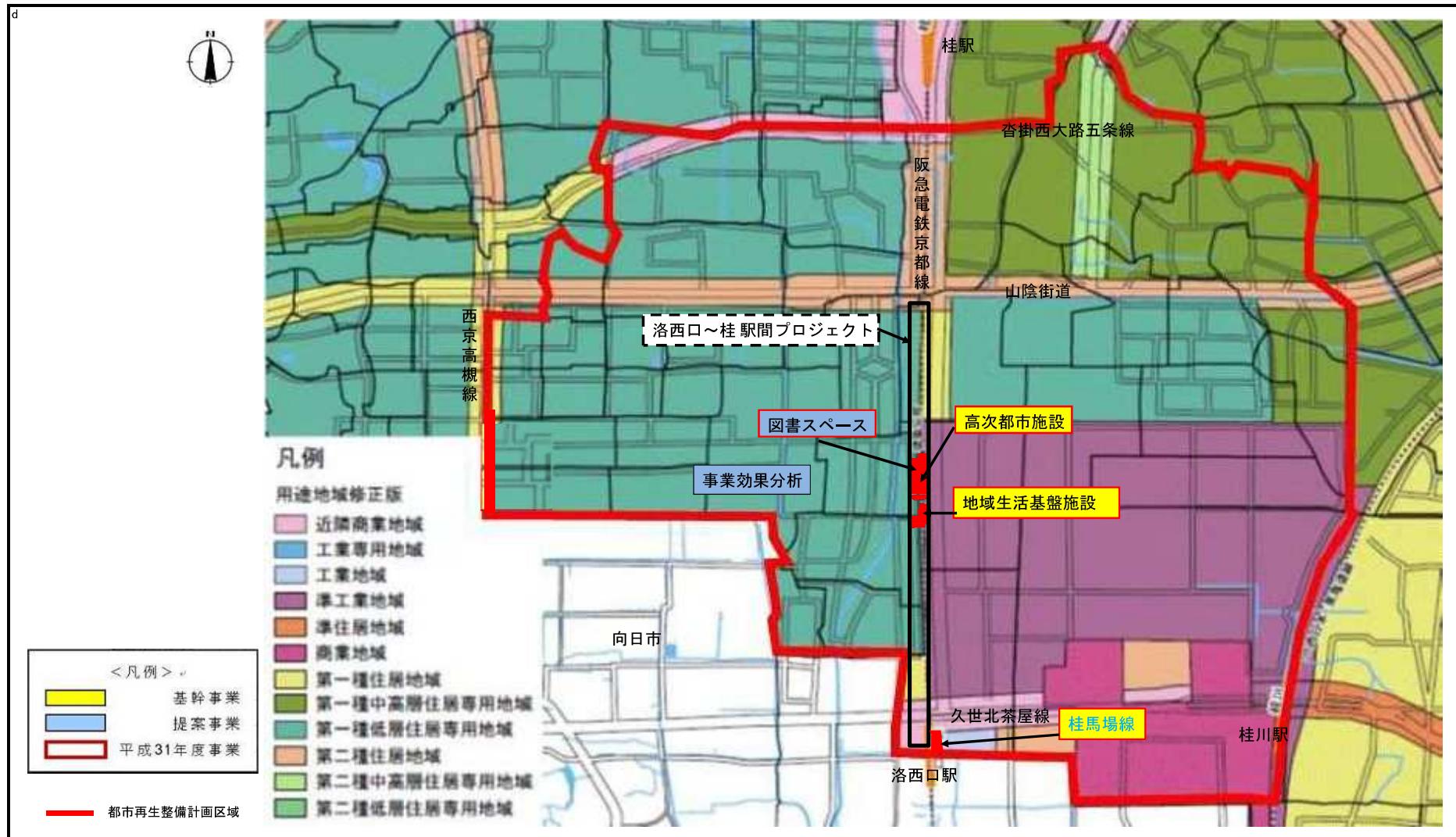
13

提案事業(継続地区の場合のみ記載)													
事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費		交付対象事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度		うち官負担分	うち民負担分	
地域創造支援事業	図書スペース	京都市	直	約30㎡	H30	H31	H31	H31	11	10	10	10	10
事業活用調査	事業効果分析	バス乗降者数調査	京都市	直		H32	H32	H32	H32	1	1	1	1
まちづくり活動推進事業													
合計										12	11	11	11
										0	0	0	11
										合計(A+B+C)			556

11

都市再生整備計画の区域

洛西口・桂駅高架下地区(京都府京都市)	面積	186 ha	区域
西京区: 下津林塗森、川島流田町、川島桜園町、川島梅園町、川島三重町、川島竹園町、川島五反長町、下津林八島、下津林伯、川島蘿田町、川島松園町、下津林前弘町、川島松ノ木本町、下津林楠町、川島東代町、川島湧橋町、川島玉胡町、川島粟田町、川島野田町、川島鏡子町、櫻原三宅町、櫻原八反田、櫻原山路、櫻原六反田、櫻原甲水、櫻原比志田町、櫻原井戸、櫻原庭井、櫻原分田、櫻原水菜町、櫻原江ノ本町の全部と川島六ノ坪町の一部、久世高田町の一部			



洛西口・桂駅高架下地区(京都府京都市) 整備方針概要図

目標	高架下空間を活用した「歩いて楽しいにぎわいのあるまちづくり」を推進する。 地域交流を促進し、まちづくり活動を活性化する。	代表的な指標	公共交通(バス)の利用者数 人／日	812 (24年度)	→	914 (32年度)
			地域交流施設の利用回数 回／月	33 (29年度)	→	51 (32年度)
			通行時間の短縮 分	6 (30年度)	→	3 (32年度)

